

エコアクション21

環境活動レポート

第5期（2013.1～2013.12）



作成日：平成26年3月1日

信濃酒井建設株式会社

目 次

1. 環境方針
2. 組織の概要
3. 環境目標
4. 環境活動計画と具体的施策
5. 環境活動の取組結果と評価
 - ・代表者による全体の評価と見直し記録
 - ・環境活動の取組結果と評価
6. 環境関連法規への違反、起訴等の有無

1 . 環 境 方 針

基 本 理 念

信濃酒井建設株式会社は、環境保全の重要性を認識し、建設工事の事業活動において、自然環境の保全、環境負荷の低減及び改善に取り組み、地域社会の環境保全に努めます。

行 動 指 針

1. 事業活動にあたって、環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善に努める。
2. 環境関連の法規・規則・条例等を遵守し、事業活動をおこなう。
3. 次の項目を当社の環境目標とし、継続的に取り組む。
 - 1) 事業活動で使用する電力、化石燃料、紙等の使用量の削減に努める。
 - 2) 可能な限り廃棄物の発生を抑制し、減量化に努めるとともに適正な処理をおこなう。
 - 3) 水の使用量の抑制に努める。
 - 4) 事業活動で使用する建設資材、仮設資材及び事務用品等は、環境に配慮した物品を積極的に使用する。
4. 社員の環境教育を実施し、当社環境方針を周知させるとともに、社外にも公表し環境保全活動への認識の向上に努める。

2009年11月1日

信濃酒井建設株式会社

代表取締役 酒井 昭



2. 組織の概要

1) 事業所及び代表者名

信濃酒井建設株式会社
代表取締役 酒井 昭

2) 所在地

本 社 長野県長野市篠ノ井山布施8470
七二会営業所 長野県長野市七二会乙2644-1

3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 専務取締役 新井 守光
担当者 環境事務局 松野 芳久
連絡先 TEL : 026-229-2418 FAX : 026-229-2560
HP : <http://www2.plala.or.jp/sinasaka/>
E-mail : sinasaka-n@ymail.plala.or.jp

4) 事業内容

建設業

土木工事業、とび、土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、管工事業

5) 事業の規模

売上高

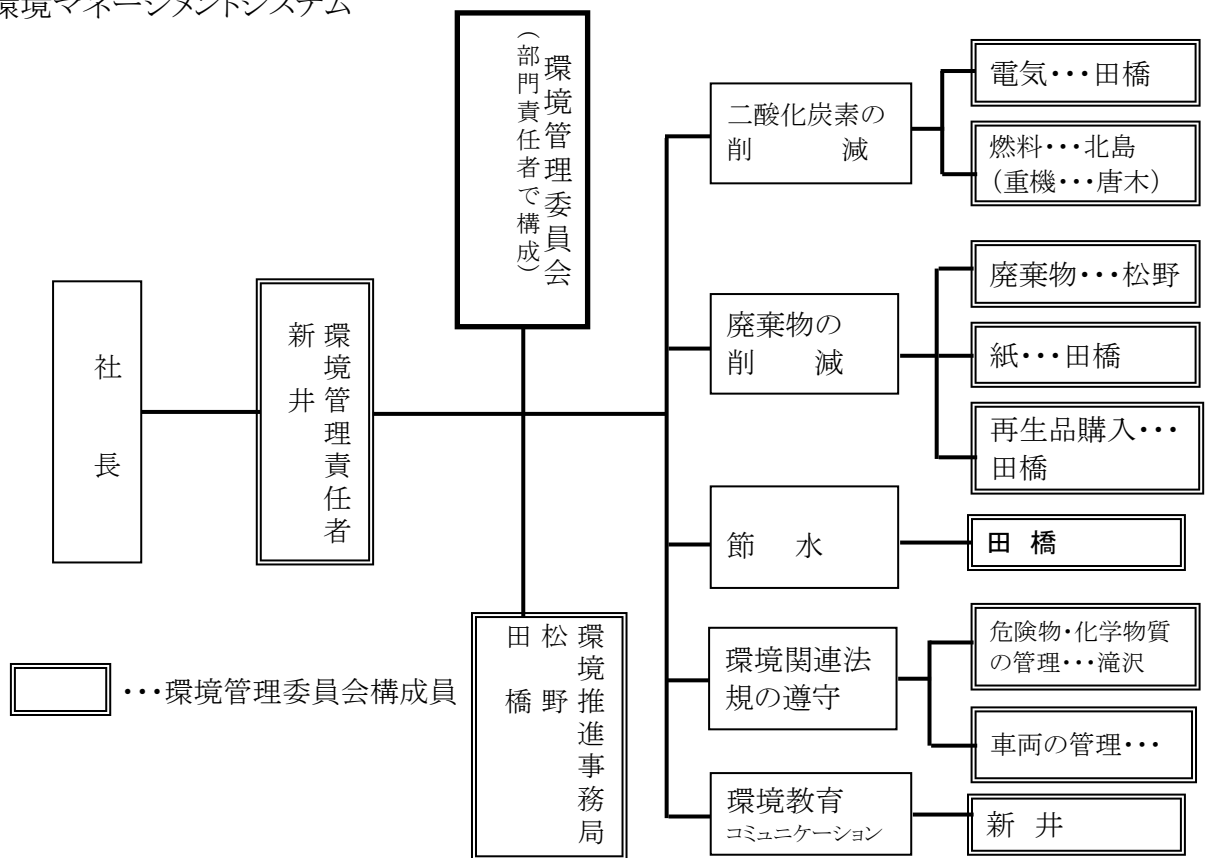
4億3950万円
(51期 : H25. 1. 1~H25. 12. 31)

従業員数

19名



6) 環境マネジメントシステム



7) 環境マネジメントシステムにおける役割・責任

部 門	役 割 ・ 責 任	
社 長	環境マネジメントシステムを実施及び管理に不可欠な資源を用意する。資源には、人的資源及び専門的な技能・技術、並びに資金を含む。	
環境管理責任者	環境マネジメント業務の総括推進者で、環境マネジメントシステム確立・維持及び経営者への報告に関し、他の責任に関わりなく、責任と権限を有する。 環境マネジメントシステム運用に関し、環境目的・目標の設定、社内外とのコミュニケーション及び環境の教育訓練実施の責任者である。	
環境管理委員会	環境マネジメントシステム運営の要として、環境に関する活動の実施内容及び活動計画の運用状況等について協議する。	
部門責任者	日常業務遂行及び、環境マネジメントシステム運用における実行責任者である。 各部門の環境目標・活動計画による活動の責任者でその推進を図る。	
実行部門	各課	環境マネジメントシステム運用において、環境方針に基づく環境保護活動の実行単位である。
	環境推進事務局	環境マネジメントシステム運営の総括事務を行う。

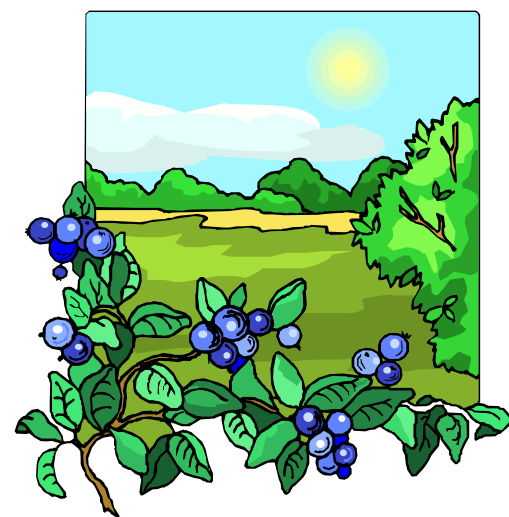
3. 環 境 目 標

目標値については、ベースを2008年(2008.1～2008.12)の実績値とし、2013年までの5年間の目標を策定した。

※ 2012. 3. 1に電気によるCO²排出量及び水使用量の目標値を2010年実績値に改めた。

※ 2014. 2. 1にベースを2013年(2013.1～2013.12)の実績値とし、2018年までの5年間の目標を策定した。

項 目	5期目 <2013年1月～12月>	6期目 <2014年1月～12月>	7期目 <2015年1月～12月>	8期目 <2016年1月～12月>	9期目 <2017年1月～12月>	10期目 <2018年1月～12月>
二酸化炭素 排出量の削減	ガソリンによる排出量を2008年度比5%削減する	ガソリンによる排出量を2013年度実績を維持する	ガソリンによる排出量を2013年度実績を維持する	ガソリンによる排出量を2013年度実績を維持する	ガソリンによる排出量を2013年度実績を維持する	ガソリンによる排出量を2013年度実績を維持する
	軽油による排出量を2008年度比5%削減する	軽油による排出量を2013年度実績を維持する	軽油による排出量を2013年度実績を維持する	軽油による排出量を2013年度実績を維持する	軽油による排出量を2013年度実績を維持する	軽油による排出量を2013年度実績を維持する
	電気による排出量を2010年度比5%削減する	電気による排出量を2013年度実績を維持する	電気による排出量を2013年度実績を維持する	電気による排出量を2013年度実績を維持する	電気による排出量を2013年度実績を維持する	電気による排出量を2013年度実績を維持する
廃棄物排出 量の削減 (3R(減量・ 再利用・再 生利用)の 推進)	可燃ごみを2008年度比3%削減する 一般廃棄物および産業廃棄物の分別を徹底し、適正処理する	可燃ごみを2008年度比3%削減する 一般廃棄物および産業廃棄物の分別を徹底し、適正処理する	可燃ごみを2008年度比3%削減する 一般廃棄物および産業廃棄物の分別を徹底し、適正処理する	可燃ごみを2008年度比3%削減する 一般廃棄物および産業廃棄物の分別を徹底し、適正処理する	可燃ごみを2008年度比3%削減する 一般廃棄物および産業廃棄物の分別を徹底し、適正処理する	可燃ごみを2008年度比3%削減する 一般廃棄物および産業廃棄物の分別を徹底し、適正処理する
	紙類の使用量を2008年度比5%削減する	紙類の使用量を2013年度比実績を維持する	紙類の使用量を2013年度比実績を維持する	紙類の使用量を2013年度比実績を維持する	紙類の使用量を2013年度比実績を維持する	紙類の使用量を2013年度比実績を維持する
	グリーン品目購入を推進する	建設資材・事務用品のグリーン購入を推進する	グリーン品目購入を推進する	グリーン品目購入を推進する	グリーン品目購入を推進する	グリーン品目購入を推進する
節 水	水の使用量を2010年度比50%削減する	水の使用量を2013年度実績を維持する	水の使用量を2013年度実績を維持する	水の使用量を2013年度実績を維持する	水の使用量を2013年度実績を維持する	水の使用量を2013年度実績を維持する
公害防止・ 環境関連法 規の遵守	発注者の要求事項に対応するとともに、緊急時の訓練を行う	発注者の要求事項に対応するとともに緊急時の訓練を行う	発注者の要求事項に対応するとともに、緊急時の訓練を行う	発注者の要求事項に対応するとともに、緊急時の訓練を行う	発注者の要求事項に対応するとともに、緊急時の訓練を行う	発注者の要求事項に対応するとともに、緊急時の訓練を行う
	公害防止のための自主点検・定期点検を継続する	公害防止のための自主点検・定期点検を継続する	公害防止のための自主点検・定期点検を継続する	公害防止のための自主点検・定期点検を継続する	公害防止のための自主点検・定期点検を継続する	公害防止のための自主点検・定期点検を継続する



4. 環境活動計画と具体的施策

1. 電気使用量の削減

- ・使用電力量の調査と記録
- ・不要な照明の消灯、昼休み時間の消灯
- ・エアコンの温度設定 夏27℃ 冬25℃
- ・暖房時のエアコン使用を抑制
- ・パソコンの省エネモード設定
- ・長寿命の電球及び蛍光灯への転換

2. 車両の燃料使用量の低減

- ・給油記録(運転日報)の記録と集計
- ・エコドライブの実施

3. 重機燃料使用量の削減

- ・現場毎の給油量の記録と集計
- ・アイドリング時間の短縮
- ・適切な時期のメンテナンスの実施
- ・適正回転での作業の励行
- ・作業内容にあった機械・機種を選定

4. 紙使用量の削減

- ・裏紙の活用
- ・印刷コストの安いプリントアウトの励行
- ・紙使用量の集計

5. 節水に努める

- ・上水道の節水の励行
- ・節水の啓発表示

6. 廃棄物の分別を徹底

- ・廃棄物置き場の確定と表示
- ・一般廃棄物の計量と記録
- ・廃棄物の分別と適正処分

7. 危険物・化学物質の管理野徹底と緊急時の訓練

- ・発注者要求事項の実施と記録
- ・緊急事態の対応訓練の実施と記録
- ・環境関連法規の遵守状況チェック

8. 再生品使用品目の調査と使用

- ・再生品使用の周知
- ・使用した再生品の記録

9. 公害防止のための自主点検・定期点検の実施

- ・車両・機械の自主点検・定期点検の計画と実施
- ・点検記録の保管



5. 表者による全体の評価と見直し記録

■定期見直し（事業年度終了後）
□臨時見直し

実施日：2014年3月1日

代表者	環境管理責任者
酒井	新井

見直しに必要な情報				代表者による見直し																													
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項																													
<p>[取り組み状況の評価結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンの使用量が目標を達成した。 ・電気、水が目標値を上回った。要因は海外研修生の受け入れにより宿舎での使用が増えたためと思われる。 ・軽油・紙が目標値を上回った。要因は工事量の増加が主因と思われる。 ・現場での廃棄物の分別及び処分が充実できた。 <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般教育の実施回数が計画より少なかった <p>③前回までの代表者の指示事項への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別は、現場発生産品についてはほぼ完全に実施されているが、一般廃棄物の分別リサイクルについては、まだ不十分であるので取り組みを推進する。 <p><改善への提案></p>				<p>[環境方針]</p> <p>変更の必要性： <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>																													
<p>[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による) 評価基準は○:8割達成、△:3割達成、×:3割以下と</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値達成状況</th> <th>活動計画実施状況</th> <th>コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO₂排出量の削減</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>・ガソリンは目標達成。電力・軽油は使用量が増加</td> </tr> <tr> <td>廃棄物排出量の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>分別・適正処理は達成。紙は使用量が増加。</td> </tr> <tr> <td>節水</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>海外研修生の受け入れにより上水道の使用量増加</td> </tr> <tr> <td>公害防止・環境関連法規の遵守</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>取組はほぼ達成。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><改善への提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気・水は現状の取り組みを維持し、使用量を増やさない様努める。 ・一般廃棄物の分別リサイクルに努める 				目標項目	目標値達成状況	活動計画実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	CO ₂ 排出量の削減	△	○	・ガソリンは目標達成。電力・軽油は使用量が増加	廃棄物排出量の削減	○	○	分別・適正処理は達成。紙は使用量が増加。	節水	△	○	海外研修生の受け入れにより上水道の使用量増加	公害防止・環境関連法規の遵守	○	○	取組はほぼ達成。									<p>[目標・活動計画]</p> <p>変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン、軽油の使用量削減は、現場条件により変動するので、エコドライブ、アイドリングストップ等の取組を推進する。 ・現場及び事務所での廃棄物の分別を徹底し、使用済みコピー紙の分別・リサイクルの取組、空き缶の分別等を充実し、資源物のリサイクルに務めること。 ・3S活動を活動計画に取り入れ、環境保全活動と通常業務をリンクさせることにより、社員の環境保全に対する意識を向上させる取り組みを検討する。 	
目標項目	目標値達成状況	活動計画実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)																														
CO ₂ 排出量の削減	△	○	・ガソリンは目標達成。電力・軽油は使用量が増加																														
廃棄物排出量の削減	○	○	分別・適正処理は達成。紙は使用量が増加。																														
節水	△	○	海外研修生の受け入れにより上水道の使用量増加																														
公害防止・環境関連法規の遵守	○	○	取組はほぼ達成。																														
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する苦情・クレームはなかった <p>②環境関連法規制等の動向他</p> <p><改善への提案></p>				<p>[その他]</p> <p>変更の必要性： <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>																													
<p>代表者が自ら得た情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3S活動を活動計画に取り入れ、環境保全活動と通常業務をリンクさせることにより、社員の環境保全に対する意識改革に効果がある。 				<p>[総括](環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の取組の結果、ガソリン、の使用量削減及び廃棄物分別・処分に一定の成果があったが、電気、軽油、紙、水で目標値を上回った。次期も今の環境方針、目標に沿って活動を推進する事とし、以下を重点項目とする。 ① 電気・水は現状の取り組みを維持し、使用量を増やさない様努める。 ② 廃棄物の分別を徹底し、資源物のリサイクルに務める。 																													

5. 環境活動の取組結果と評価

1) 第5期取組結果



第5期は2013/1～2013/12間の取り組みです。

項目	管理単位	単位	第3期実績	第4期実績	第5期目標	第5期実績	達成率	評価
電気	使用量	kWh	15,185	18,264	15,600	18,060	86%	○
	CO ₂ 換算値	kg-CO ₂	7,137	8,584		8,487		
ガソリン	使用量	リットル	13,381	13,805	13,740	13,756	100%	○
	CO ₂ 換算値	kg-CO ₂	31,066	32,051		3,175		
軽油	使用量	リットル	29,834	35,116	31,200	40,397	77%	△
	CO ₂ 換算値	kg-CO ₂	78,295	92,156		106,015		
紙	使用量	kg	128	208	171	186	92%	○
水	使用量	m ³	297	442	300	481	62%	△
	(排水量)	m ³	297	442	300	481		
廃棄物排出量 (分別と適正処理)	産廃排出量	t	601	1953	—	1301		○
	一廃排出量	t	2	2	—	2		

※達成率＝目標／実績 評価基準は○：8割達成、△：3割達成、×：3割以下とする。

※購入電力排出係数 中部電力の平成19年度排出係数0.47kg-CO₂を使用

2) 評価

代表者総評	<p>2013年1月から第5期の取組の結果、ガソリンの使用量が目標を達成したが、電気、軽油、紙、水で目標値を上回った。また廃棄物の分別・処分には一定の成果があった。</p> <p>次年度も今の環境方針、目標に沿って活動を推進する事とし、以下を重点項目とする。</p> <p>① 電気・水は現状の取り組みを維持し、使用量を増やさない様努める。</p> <p>② 廃棄物の分別を徹底し、資源物のリサイクルに務める。</p> <p>③ 3S活動を活動計画に取り入れ、環境保全活動と通常業務をリンクさせることにより、社員の環境保全に対する意識を向上させる取り組みを検討する。</p>
電気	<p>電気の使用量は目標達成率86%と目標値を上回った。要因は海外研修生の受け入れにより宿舎での使用が増えたことが主因と思われる。今後は現在の水準を維持し使用量を増やさないようにする。</p>
車両の燃料使用量 (ガソリン)	<p>ガソリンの使用量は目標達成率100%と目標を達成した。要因は前半期に遠方の現場が竣工したことに起因すると思われる。近年は、施工カ所が近場から遠方になっているので、年度の受注状況により使用量は変動すると思われるが、社員のエコドライブ等の取組は徐々に浸透し成果を上げていると思われるので、より意識の向上と取組を推進し来期も目標達成に結び付けたい。</p>
重機燃料使用量 (軽油)	<p>軽油の使用量は目標達成率77%と目標値を上回った。要因は年度後半に大型重機を使用する現場が多かったためと思われる。当社の業種は現場条件、工種等により使用量が大きく変動するので、目標達成には難しいものがある。社員のアイドリングストップ等の取組は徐々に浸透し成果を上げていると思われるので、より意識の向上と取組を推進し来期も目標達成に結び付けたい。</p>
紙	<p>紙の購入量は前年度より減ったものの目標達成率92%の186kgとなった。要因は工事量が増えたので使用量が増加したためと思われる。裏紙使用の取組もおこなっているが、社内文書に限られるため削減への貢献は少ない。今後は使用済みコピー紙を分別しリサイクルすることにより、相対的使用量を減らす取組が有効と思われる。</p>
水	<p>上水道の使用量が目標達成率62%の481m³となった。要因は、海外研修生の受け入れにより宿舎での使用が増えたことが主因と思われる。今後は現在の水準を維持し使用量を増やさないようにする。</p>
廃棄物の分別処理	<p>産業廃棄物の処理は、発注官庁から適正処分が義務付けられており、竣工時にマニフェストの確認等があるので適正処理されている。事務所、営業所で発生する一般塵芥については、自社の焼却炉で焼却処理している。</p>
危険物管理・緊急時の訓練	<p>発注者の要求事項の実施については、「安全パトロール」の点検項目を増やし毎月点検するようにした。緊急時の訓練は1回実施した。</p>
公害防止のための自主点検・定期点検の実施	<p>車両機械の自主点検及び定期点検は計画どおり実施した。</p>

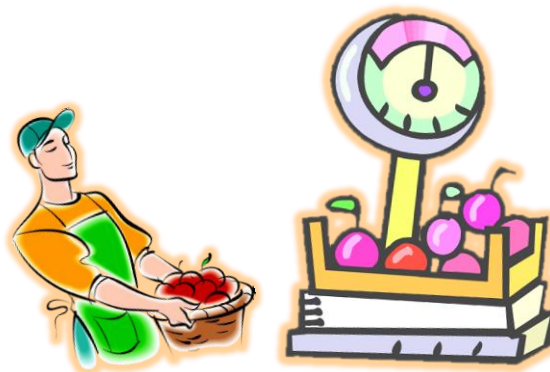
6. 環境関連法規への違反、起訴等の有無

1) 環境関連法規

下記のとおり、環境管理責任者が中心となり、環境関連法規及び条例等の遵守を確認した結果、違反はありません。

また、関係当局よりの違反等の指摘も、過去10年間はありません。

N0	法令等の名称	適用される要求事項	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	・産業廃棄物収集運搬業者、処分業者との契約	遵 法
		・産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付と保存	遵 法
		・産業廃棄物管理票交付状況報告	遵 法
		(産業廃棄物収集運搬業)	
		・産業廃棄物収集運搬業の許可	遵 法
		・産業廃棄物排出業者との契約 (委託契約書、マニフェストの保存)	遵 法
	・産業廃棄物の運搬実績報告書の提出	遵 法	
2	騒音規制法 (長野市公害防止条例)	・特定建設作業実施の届出 区域別基準 期間の規制 時間帯別基準 曜日の規制	遵 法
3	振動規制法 (長野市公害防止条例)	・特定建設作業実施の届出 区域別基準 期間の規制 時間帯別基準 曜日の規制	期間中 該当なし
4	水質汚濁防止法	・特定建設作業実施の届出	期間中 該当なし
5	大気汚染防止法 ダイオキシン類対策特別措置法	・産廃物焼却炉の設置(火床面積0.5㎡以上又は 焼却能力50kg./h以上の場合届出) ・特定粉じん(アスベスト)排出等作業	期間中 該当なし
6	消防法	・少量危険物の貯蔵又は取扱いの届出	遵 法
7	資源の有効な利用の促進に関する法律	・再生資源利用計画書の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
		・再生資源利用促進計画の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
8	建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	・対象建設工事の説明及び告知	遵 法
		・再資源化の報告	遵 法
9	廃棄物の適正な処理の確保に関する条例(長野県・長野市)	・産業廃棄物の減量等に関する計画書の作成 及び実施状況報告	遵 法
10	長野県公共事業等環境配慮推進要綱	・工事毎に環境配慮指示があつた場合に対応 ・環境全般に対し環境配慮の努力義務	期間中 該当なし



地域ボランティア活動 (施工箇所における地域社会や住民に対する貢献)



道路側溝の土上げ



農業用水路の清掃



農道の草刈りと敷砂利